本資料は Arcserve UDP コンソールを利用せず、Linux Agent のみで運用している構成を前提とした資料です。Arcserve UDP コンソールを利用した運用を利用している場合の作業については「Arcserve UDP Console での計画停電時の注意事項と作業方法」を参照します

■ 計画停電によるシャットダウン前の確認と作業

- 1. シャットダウン前の確認事項
 - → バックアップ スケジュールを確認し、停電時間帯に設定されていないか確認します。 停電時間帯にスケジュールされている場合は、スケジュールの停止または変更を検討します。
 - ※ Linux 単体のスケジュールは、「復旧セット」を利用するため、定期的なフル バックアップが 必要です。フル バックアップが可能なスケジュールを検討して変更を行ってください。
- 2. シャットダウン前の作業
 - → 検討した方法でバックアップ スケジュールを変更します。
 - スケジュールを無効にする

バックアップ ジョブの変更(バックアップ - 2018/6/22 午前 12:14:00)			
盂	 マ スケジュール スケジュール タイプ なし ▼ 			
バックアップ サーバ	パックアップ ジョブ カスタム 0 み実行されます。スクリプトを使用してジョブのスケジュ ールをカスタマイズす _{なし} を選択します。			
バックアップ ソース	マロレンドの加定です。 1 の格納するために十分な空き容量がデスティネーションにあることを確認してください。			
	保存する復旧セットの数を指定します。 2			
	新しい復旧セットを開始する間隔:			
パックアップ先	 ◎ 1回の通れされた日付 月間日 ▼ 			

[スケジュール タイプ] を [なし] に変更することで、スケジュール設定のみを無効にします。 復電後、スケジュールを再度設定し [カスタム] に変更する必要がありますが、[バックアップソース]、 [バックアップ先]、および [復旧セットの設定]の設定はすべて維持されます。

● スケジュール日時を変更する

バックアップサーバにて、[ジョブ ステータス] にて該当するバックアップジョブを選択し、[変更] 画面 にて、[拡張] メニューの [スケジュール] を開きます。

バックアップ ジョブを変更し	ます (バックアップ - 2018/9/13 午後 5:01:00)			×
*	▼ ス ケジュール スケジュール タイプ カスタム ▼			
バックアップ サーバ	開始日 18/09/13 🖸	🕒 追加 🗾 変調	更 🙁 削除 😢 クリア	
	時刻 ▲ [1]] 月曜日	バックアップの種類	繰り返し実行する	Ш
バックアップ ソース	Ⅲ 10:00 午後	増分バックアップ	実行しない	
	- 10:00 午後	増分バックアップ	実行しない	
ビックマップサ	▲ 圖 水曜日 ■ 10:00 午後	増分バックアップ	実行しない	
バックアップ先	▲ III 大曜日 Ⅲ 10:00 午後	増分バックアップ	実行しない	
	▲ 金曜日			
拡張	Ⅲ 10:00 午後	フル バックアップ	実行しない ▼	
	▽ 復旧セットの設定			
	保持を指定する復旧セットの数が多い場合、指定した つ格納するために十分な空き容量がデスティネーショ	数の復旧セットに加えて、j シにあることを確認してく	追加の復旧セットを 1 ださい。	
עדל	保在すス炉IPセットの数を指定1.キす <戻る	次^>	キャンセル ///	▼ プ

[設定例]

- 停電時間: 9/14 (金) 21:00 ~ 9/15 17:00
- スケジュール変更:金曜日を削除し、木曜日をフル バックアップに変更
- ※ 復電後、再度設定変更が必要です。

ここでは、金曜日のバックアップを動作させないよう金曜日のバックアップを削除しますが、復旧セットの ための定期的なフル バックアップが必要です。そのため、木曜日をフル バックアップに変更し、復旧セッ トの開始曜日を木曜日に変更します。

1. 金曜日のバックアップを削除

金曜日のジョブを選択し、削除をクリックします。

バックアップ ジョブを変更し	ます (バックアップ - 2018/9/13 午後 5:01:00)			×		
品	▽ スケジュール			Â		
	スケジュール タイプ カスタム 💉					
バックアップ サーバ	開始日 18/09/13 📑	🕒 追加 🗾 変更	😢 削除 🙁 クリア			
	時刻	バックアップの種類	繰り返し実行する			
T	▲ 團 月曜日		A			
	🔜 10:00 午後	増分バックアップ	実行しない			
バックアップ ソース	▲ 團 火曜日					
	10:00 午後	増分バックアップ	実行しない			
Á	▲ 🔳 水曜日					
	10:00 午後	増分バックアップ	実行しない			
バックアップ先	▲ 🔳 木曜日					
	10:00 午後	増分バックアップ	実行しない			
(\mathbf{N}, \mathbf{C})						
	10:00 午後	フル バックアップ	実行しない			
払抜						
	▽ 復旧セットの設定					
59	🕕 保持を指定する復旧セットの数が多い場合、指定した数の復旧セットに加えて、追加の復旧セットを 1					
つ格納するために十分な空き容量がデスティネーションにあることを確認してください。						
עדּ ע	厚左すス須旧わい トの数を指定します			•		
	<戻る	次^>	キャンセル ヘル	プ		

2. 木曜日をフル バックアップに変更
 木曜日のジョブを選択し、[変更] をクリックしフル バックアップに変更します。

バックアップ ジョブを変更し	」ます(バックアップ - 2018/9/13 午後 5:01:00)	×
品	マ スケジュール スケジュール タイブ カスタム ▼	^
バックアップ サーバ	開始日 18/09/13 🗳 金加 📝 変更 🕃 削除 😢 クリア	
	時刻 パックアップの種類 機り返し実行する	
★ バックアップ ソース	▲ 画 月曜日 ■ 10:00 午後 バックアップスケジュールの変更 ×	
	▲ 国 火曜日 バックアップの種類 フル バックアップ ▼ 田 10:00 午後 ■ 両 水曜日 日時時刻 フル バックアップ ▼ 日的時刻 フル バックアップ ▼	
バックアップ先	■ 10:00 午後 🕒 繰り返し実行する 様証ハックアップ	
	▲ 画 木曜日 一 定間隔 分 ▼ 画 10:00 午後 終了時刻 ▼ : ▼ ▼	
拡張	○ 復日セットの設定	
	保持を指定する復旧セットの数が多い場合、指定した数の復旧セットに加えて、追加の復旧セットを1 つ格納するために十分な空き容量がデスティネーションにあることを確認してください。	
עד ע	厚左オス作用ヤットの数を増全1,キオ	

3. 復旧セットの木曜日をフル バックアップに変更 [復旧セットの設定] にて、「新しい復旧セットを開始する間隔] を木曜日に変更します。

バックアップ ジョブを変更し	ます (バックアップ - 2018/9/13	3 午後 5:01:00)			×
木	▽ 復旧セットの設定			-	
リロロ	 保持を指定する復旧セッ つ格納するために十分が 	ットの数が多い ^は な空き容量がデジ	場合、指定した数の復 スティネーションにあ	旧セットに加えて、追加の復旧 ることを確認してください。	セットを 1
	保存する復旧セットの数を	を指定します。	2		
	新しい復旧セットを開始す	する間隔:	2		
バックアップ ソース	 週の選択された曜日 		金曜日	~	
	 月の選択された日位 	4	日曜日		
	▽ スロットル バックアップ		月曜日		
バックアップ先	🔲 バックアップ書き込み	速度の上限:	水曜日		
	▽ 実行前/後スクリプトの設置	Ê	木曜日		
(\mathbf{N})	バックアップ サーバで実行	します	金曜日		
	ジョブの実行前	なし	土曜日	~	
拡張	ジョブの完了後	なし		~	
	ターゲット マシンで実行し	ます			
	ジョブの実行前	なし		*	
44-744	ジョブの完了後	なし		*	-
עאפ					
			< 戻る	#P20	

注:バックアップ先がリモート共有フォルダや外付けディスク等に設定している場合は 停電復旧後に各デバイスの電源やネットワークの状態を確認しバックアップを実施します。 ※ 復電後、再度スケジュールの設定変更を検討してください。

■ 計画停電時のトラブルシューティング

<サーバ停止中にバックアップ スケジュール時刻を経過した>

サーバ停止中にバックアップスケジュール時刻を過ぎてしまった場合は、次回の**サーバ起動直後**に未実行のバックアップが実行されます。繰り返し間隔とスケジュール時刻によっては、複数回のバックアップスケジュールが スキップされますが、サーバ起動直後に実行されるバックアップは直近の1回分のみです。

<シャットダウンすることなく、サーバの電源が切れてしまった>

次回のバックアップでは、必ず検証バックアップが実行されます。検証バックアップでは、前回のバックアップ データと現在のディスクの状態とを比較しながらバックアップを行います。検証バックアップが正常に完了すれ ば、以降は増分バックアップでの運用を継続する事ができます。

※ サーバ稼働中の停電により、ディスクが損傷している場合があります。ディスクが正常であることを 確認した上でバックアップ運用を継続してください。